



ただら

第 18 号
(2022年1月発行)

島根学習センター内
島根同窓会

発行者 竹下靖彦
http://oushimaned.main.jp
E-mail:
mado@oushimaned.main.jp



飯南町頓原地区を練り歩く囃子らの行列

(写真・文提供 森勝男氏)

新年に相応しい明るい画像が無く、少しでも賑わいのある画像を森勝男さんの「まめですか」から探した結果、古い画像があり華やかで少しでも明るい兆しと思い、転載の了解を頂き転用させていただきました。

島根県飯南町の由来(ゆき)八幡宮で実りの秋に感謝する「頭屋(とうや)祭行事」が、2018年11月7日に行われました。飯南町頓原の由来八幡宮に伝わる「頭屋祭行事」は、例祭として毎年7日に行われます。浴衣や花笠姿の囃子(はやしこ)や、みこしを担いだ住民らの行列が、笛や太鼓に合わせ街中から八幡宮まで、約2^{キロ}をにぎやかに練り歩き今年の豊作を祝ったのです。

神事は、室町時代から約500年に渡って穀霊神事を継承しており、県無形民俗文化財に指定されています。「注連下ろし祭」からはじまり「頭屋祭」「神幸式」「姫之飯(ひめのえ)神事」「頭渡し神事」にいたる穀霊信仰に基づく一連の特

殊神事です。

行列が八幡宮に到着すると拝殿で行われる「姫之飯神事」は、神職が巫女に扮し竹に稲穂を掛けて舞う姿が、古代における「田の神出現」の様子を具現しているとして全国的にも珍しいとされています。

祭りを担当する頭屋は、頓原地区内の3地区が毎年持ち回りです。

由来八幡宮は1185年、源頼朝が安堵状を出し神像8体を彫らせ、8別宮に納めさせたと伝えられる出雲8所八幡の1社です。

新年のご挨拶を申し上げます

2022年 元旦

役員一同